

重要水防箇所評定基準（案）

種 別	水防上最も重要な区間 A	次に重要な区間 B	やや危険な区間 C
堤 防 高	計画堤防余裕高に対して現況余裕高が1/5以下の場合であり計画高水流量を疎通せしめるには最も危険な箇所。	計画堤防余裕高に対して現況堤防余裕高が1/5～1/2の場合であり計画高水流量を疎通せしめるには危険な箇所。	計画堤防余裕高に対して現況堤防余裕高が1/2以上であり、計画堤防余裕高より低い箇所。
堤 防 断 面	一連の堤防のうち計画堤防断面に対して特に部分的に断面が狭小であり、又、天端巾も狭いもの（一般に刃堤といわれるもので堤防断面積あるいは天端巾が計画の1/2以下の区間）。	計画堤防断面に対して堤防断面が不足しており、天端巾も計画より狭いもの（一般に暫定断面で施工されたもので堤防断面積が計画の2/3以下の区間）。	
堤 体 強 度	堤体あるいは基礎地盤の土質軟弱、法勾配等により法崩壊、すべりあるいは急激な沈下等の実績があり、かつ危険が予想される箇所。水衝箇所の新堤で完成後3年以下で安全に不安が考えられる箇所。	堤体あるいは基礎地盤の土質軟弱、法勾配等により法崩壊、すべり、沈下等が予想される箇所。新堤で完成後3年以下で安全に不安が考えられる箇所。	
漏 水	堤体あるいは基礎地盤より漏水の実績があるもの、又はそのおそれが十分ある箇所。	漏水の実績があり、これに対して応急措置を講じられた箇所。	漏水、法崩れ等の不安が考えられる箇所。
水 衝	洪水時の水衝部となり、低水護岸等が度々破損され、あるいは破堤、又は、破堤寸前まで決壊等の実績があるもの。	洪水時の水衝部となり低水護岸、高水護岸があるが完全とは考えられない箇所、あるいは護岸等が古くなって効用が著しく減じている箇所。	
洗 掘	堤防と接近している河岸が洗掘されている所で、堤脚護岸の根固が現在洗われており、かつ水制等が破損して危険が予想される場合、又、橋台取付部やその他の工作物の突出による堤体の洗掘についても考慮する。なお、波浪による河岸決壊により危険に類した実績のあるものを含む。	河岸が洗掘されているか、河床の洗掘の著しい箇所で堤脚護岸の根固め水制等が一部破損しており危険の生ずることが予想される場合。	
工 事 施 工	国債工事等でやむなく出水期中も樋門、樋管等の工作物を施工中のもので堤防を横断して開削している箇所。その他の工事施工に伴い一時的ではあるが危険が予想される場合。	樋管、橋台等施工箇所で堤防護岸が未施工の箇所	
工 作 物	取水堰、樋門、樋管等の堤防横断工作物で設置時期が古く、不等沈下、漏水等により不慮の事故が予想される箇所。陸閘が設置されている箇所。	取水堰、樋門、樋管等工作物の護岸等の補強措置が未施工の箇所。	